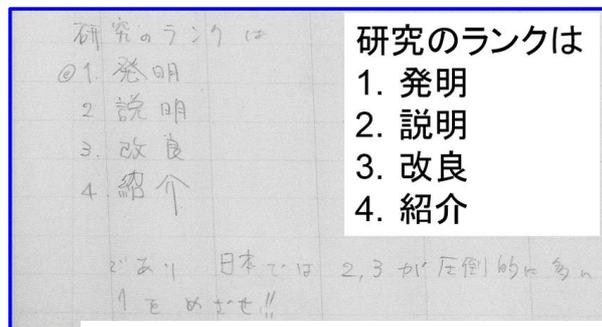
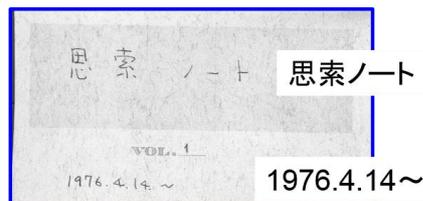




第1回 大学院の講義にて

私はいかに研究をすすめるにあたり、考えたことをメモしておくためのノートを作りました。1976年4月14日以降、折にふれて考えを書きとめ、1冊目は2004年に終了、2005年からは2冊目を使い、現在もこれを使っています。1冊目の使用早々、1976年5月9日のページの記述について以下に紹介しましょう。

1976年5月私が大学院の学生のころ、私の所属する専攻とは別の専攻の講義を聴講していたとき、年配の先生が「研究のランクは 1. 発明(発見も)、2. 説明、3. 改良、4. 紹介であり、日本では 2, 3 が圧倒的に多い。1. を目指せ！」とおっしゃったことを今でも覚えています。それ以来、自分自身の研究テーマを探すとき、「欧米の研究に学んでいたのでは 1. は不可能である。“学ぶ”のではなく“作る”学問を目指す必要がある。」ことを肝に銘じました。



日本では2, 3が圧倒的に多い
1をめざせ!!



思索ノートの1976年5月9日のページ